

[成果情報名]施設栽培におけるモモ「夢みずき」若木の特性

[要約]慣行加温体系の施設栽培において「夢みずき」若木の収穫期は「日川白鳳」より10日遅く、「白鳳」より8日早い。果頂部の突出程度はやや大きい、大玉で着色の良い、良食味な果実を収穫することができる。ただし、満開50日後から生理落果が見られる。

[担当]山梨県果樹試験場・栽培部・落葉果樹栽培科・池田博彦

[分類]技術・普及

[背景・ねらい]

山梨県オリジナル品種である「夢みずき」は露地栽培において着色や食味が優れているため、施設栽培においても高品質果実生産が期待される。そこで、ハウスモモ栽培基準に従った慣行加温体系における「夢みずき」の施設栽培適応性を確認する。

[成果の内容・特徴]

1. 慣行加温体系における「夢みずき」の生育は、満開日は2/25、収穫始めは5/25となり、対照の「日川白鳳」と比べて満開は2日早く、収穫始めは10日遅い。「白鳳」と比べると満開は3日早く、収穫始めは8日早い。満開から収穫始めまでの日数は89日である(表1)。
2. 果実重は287gと「日川白鳳」に比べ玉張りが良く、糖度は13.3° Brix、酸度はpH5.0で酸味が少なく食味は良好である。着色は4.1と施設栽培においても良好である。果実果頂部の突出程度はやや大きくなる(表2, 図1)。
3. 無袋栽培では有袋栽培に比べ着色に劣り、微裂果の発生や果点が多くなり、外観品質が低下する(表3)。また、一般的な有袋栽培の除袋時期から2日程度前後しても着色に影響は見られない(データ省略)。
4. 施設栽培の「夢みずき」においては生理落果が見られる。生理落果は満開50日後から始まり、満開65日後頃まで続く(図2)。生理落果する果実は果梗部に離層が形成され、果実の黄変や肥大不足、果梗部の裂果などで判別できる(図3)。

[成果の活用上の留意点]

1. 露地栽培と同様に、施設栽培でも有袋栽培を基本とする。
2. 満開50日後以降に生理落果が発生するため、仕上げ摘果では最終着果量に対して2割程度多めに果実を残す。生理落果する果実が判別できる満開65日後を目安に見直し摘果を実施し、袋かけを行う。
3. 本成果は樹齢7年生までの調査結果であるため、成木期の栽培性については、今後継続して検討する。

[期待される効果]

1. 着色が良く、大玉で良食味な早生品種として県内の施設栽培への普及が期待できる。

[具体的データ]

表1 慣行加温体系における「夢みずき」の生育特性 (2015-2017)

| 品種 | 樹齢 | 開花期 | | 収穫期 | | 加温開始からの日数 | | 満開～収穫始めの日数 |
|------|-----|------|------|------|------|-----------|------|------------|
| | | 始め | 満開 | 始め | 終り | 開花始め | 収穫始め | |
| 夢みずき | 5～7 | 2/17 | 2/25 | 5/25 | 6/3 | 35 | 132 | 89 |
| 日川白鳳 | 6～8 | 2/20 | 2/27 | 5/15 | 5/22 | 38 | 121 | 77 |
| 白鳳 | 6～8 | 2/19 | 2/28 | 6/2 | 6/10 | 36 | 139 | 94 |

加温開始 平均 1/14

表2 慣行加温体系における「夢みずき」果実品質 (2015-2017)

| 品種 | 樹齢 | 果実重 (g) | 硬度 (kg) | 糖度 (°Brix) | 酸度 (pH) | 着色 ^z (指数) | 食味 ^y (指数) | 突出 ^x (指数) |
|------|-----|---------|---------|------------|---------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 夢みずき | 5～7 | 287.0 | 2.4 | 13.3 | 5.0 | 4.1 | 4.3 | 1.9 |
| 日川白鳳 | 6～8 | 222.9 | 2.2 | 12.5 | 4.6 | 3.7 | 3.8 | 1.3 |
| 白鳳 | 6～8 | 295.0 | 2.0 | 12.7 | 4.7 | 3.6 | 3.9 | 1.0 |

有袋栽培における果実品質

^z 1(微)～5(多), ^y 1(不良)～5(良), ^x 0(正常)～4(突出)



図1 ハウス栽培の「夢みずき」(有袋栽培)

表3 ハウス栽培における袋かけの有無が「夢みずき」の着色等に及ぼす影響(2016-2017)

| 処理区 | 着色 ^z (指数) | 裂果 ^y (指数) | 果点 ^x (指数) |
|-----|----------------------|----------------------|----------------------|
| 有袋 | 4.1 | 0.4 | 1.6 |
| 無袋 | 3.6 | 0.8 | 2.1 |

^z 1(微)～5(多), ^y 0(無)～3(大), ^x 0(無)～4(多)

有袋区は一重袋(KMP)を使用

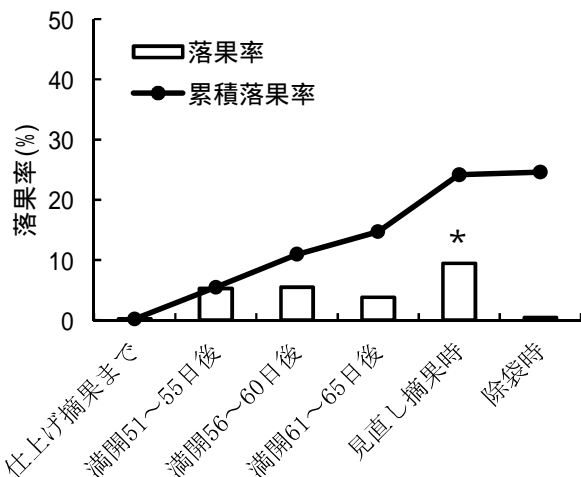


図2 「夢みずき」における生理落果の発生時期と程度(2017)

* 生育不良果の摘果数も含む

仕上げ摘果 満開50日後, 見直し摘果 満開66日後
除袋 満開80～82日後



図3 生理落果した果実の特徴

左: 果頂部にしわが入り, 肥大不良
右: 果皮が黄白化し, 果梗付近の縫合線が裂果

[その他]

研究課題名: 県育成オリジナル品種の栽培技術の確立

予算区分: 県単(重点化)

研究期間: 2014年度～2016年度

研究担当者: 池田博彦、萩原栄揮、富田 晃